

港湾荷役業におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	16~17	トラックを運転中、高架下を通過する際、橋げたに接触し負傷した。	62	1~9
2	16~17	トラックを運転中、高架下を通過する際、橋げたに接触し負傷した。	60	1~9
4	9~10	大型ダンプに貨物の積み込みが完了し、荷台シートを掛けるためシートロープを下方向へ引っ張った際、ロープが切損した勢いで前方に倒れ、ダンプ荷台下部で頭部を強打した。	56	30~49
10	11~12	倉庫にて製品を時に二次検数作業する為、昇降台を使用し、出荷車輛の荷台上に乗り、製品が積み込まれるのを待機した。製品を積込中、不意に後ずさりをした為、地上より1,230mmの高さの荷台上から転落した。	61	100~299
10	22~23	被災者はRORO船船内にてトラクターヘッドを用いた荷役作業に従事していた。トラクターヘッドを電源シャーシに連結し、エアーホース等をつなぐため運転席からヘッド後部踊り場に手すりを掴みステップをつたって移動する際、手すりが取れて後ろ向きに落下し、腰を強打した。	54	50~99
12	16~17	倉庫にて、トレーラーにフォークリフトで積み込み作業を行っていた際、右側の積み込みが終了してトレーラーのあおりを閉めようとした際、トレーラーの中柱とあおりに親指を挟み損傷した。	35	30~49

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html